

平成30年度勤務医師の負担軽減・処遇改善計画

◆勤務医負担軽減の為の取り組み  
 ・医師の事務作業の負担軽減を図る為に、十分な知識を持つ医師事務作業補助者を平成29年10月より常勤1名増員し、専従職員4名となった。また、業務改善推進委員会において、各職種の役割分担を検討することで、医師・看護師をはじめとして、多職種の負担軽減を図ることができるように業務改善に取り組んでいる。

◆医師負担軽減に係る現状、目標、達成状況

項目	現状	問題点	達成目標と必要な対処	平成30年12月		平成31年3月		
				中間報告	達成状況			
医師事務作業補助業務	・病棟回診時診療記録やオーダーの代行入力。 ・外来診察補助 ・手術オーダー入力、手術書類の作成 ・診断書の作成等を行っている。	・上肢の手術書類がバラバラに文書作成の中に入っているため。作成するのに時間がかかる。 ・病状説明用紙が電子カルテに導入していないため、すぐに用意することができない。	《目標》 ・麻酔依頼書、上肢指示書、内科対診、入院治療計画書を一括で出力できるようにする。 ・病状説明用紙を電子カルテに取り入れ誰でもすぐに発行が出来るようにする。	□				
看護業務	・各病棟に看護補助者として介護士を配し、環境整備・日常生活動作の援助を看護師と共に行っている。	・疾患による生活援助の方法の違いや注意点の理解が十分ではない時がある。	・看護補助者が疾患の特性や注意点を理解して安全に援助が出来るよう、指導・研修を進める。	□				
	・クリニカルパスの運用が開始される。	・試験運用の段階で、まだ手順が周知されていない。	＜目標＞ クリニカルパスを導入し、業務の効率化を図る。 ＜必要な対処＞ ・パス委員会と共同して試験運用を進める ・運用を開始して手順を確認し周知を図る	□				
医療スタッフ	＜薬剤科＞ ・持参薬鑑別、その後の指示上げ、代替薬処方提案、処方代行・中止・訂正、腎機能チェック、自己注射手技指導、副作用報告など様々な業務を行っている。	人員不足のため、病棟での業務が行えない。	薬剤師の病棟配置はできないが、薬局内で今までのとおり持参薬鑑別、その後の指示上げ、代替薬処方提案、処方代行・中止・訂正、腎機能チェック、自己注射手技指導、副作用報告などの業務が行えるよう維持する。	□				
	＜検査科＞ ・前回検査日を患者固有情報と付箋に記載し、医師が手間なくチェックできる体制をとっている。	・前回検査日の付箋が、他の付箋に紛れて見にくい。 ・前回検査日の入力が電子カルテ導入後に実施した検査のみのため、定期検査のオーダーが漏れてしまう事がある。	＜目標＞ 新しい体制を整え、医師の負担軽減と同時に検査件数の増大を目指す。 ＜必要な対処＞ ・医師が確認しやすいように、看護部にも協力を仰ぎ、新たな体制を整える。 ・電子カルテ導入前に行なった検査についてもカバーできるような方法を構築する。	□				
	＜リハビリテーション科＞ ・リハビリ記録に現在のリハビリ状況が記入されていない場合があり、回診時に医師が患者様の状態を把握できないことがある。	・可動域や筋力、現在の動作・歩行レベル等の記載がない場合がある。	＜目標＞ ・毎日の記録で患者様の可動域、筋力、動作歩行レベルの記載を行う。 ・回診時に医師に伝える内容を、前日または実施最終日の記録に残す。	□				
	＜画像情報科＞ ・既存の骨密度測定装置の老朽化に伴い、今回新しい装置の購入が決定した。	・今までの検査方法や結果の解析方法と変更点がでてくるため、各スタッフによる検査の再現性や検査結果のバラつきが生じる可能性がある。	・スタッフ間での検査方法等のバラつきを生じさせないため、検査マニュアルを作成し統一を図る。 ・予約検査だけでなく、当日に検査依頼があったものを積極的に行う。	□				
	＜栄養科＞ 病態に適した栄養補助食品、経腸栄養剤の種類を検討している	・効率的に行えるよう栄養補助食品、経腸栄養剤の種類を明確にしたが、個々の病態に適した種類の選択や変更等の提案が出来ていない。	栄養補助食品、経腸栄養剤の種類を検討し、医師との連携業務の効率化を図る。 ＜必要な対処＞ ・医師と栄養士との間で調整を行う。 ・栄養補助食品、経腸栄養剤の種類を選択や変更等の提案をする。	□				
	医師勤務	・医師の募集は継続している。当直医及び通常診察医師確保が必要である。	・医師不足により勤務医の負担軽減が進まない。	・当直医及び通常診察医師の確保に努力する。 ・勤務時間の把握により、勤務インターバルが確保されていることを確認する。 ・平日の当直を外部医師が行うことで、連続当直を行わない体制を確保する。また、手術前日の当直を回避する。	□			

計画作成日：平成30年3月26日

計画評価日：

業務改善推進委員会